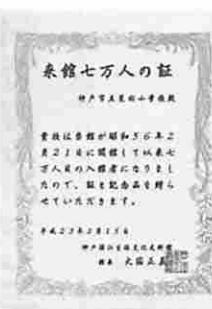


## 史料館入館者七万人達成！

一九八一年開館から三十周年を迎えた二〇一一年二月一五日（火）に史料館の入館者が七万人に達しました。七万人目の入館者は、戸市立荒田小学校三年生のみなさん（二十四名）です。当日、道谷副館長より「来館七万人の証」と記念品を贈呈しました。



▲「来館七万人の証」授与



◀「来館七万人の証」

▼館内を見学する小学生のみなさん



▼大日神社境内での集合写真



## 「史料館だより」の電子公開

史料館研究員 高田祐一

博物館の機能として①資料の収集、②保管分類、③調査研究、④教育普及がある。当館で発行している『生活文化史』（以下、史料館だより）は、調査研究の成果を公開・普及させるものであり、「史料館だより」を広く読んでもらうことは、当館の活動成果を地域に還元することにつながる。広く読んでもらう施策として、史料館だよりの電子公開を実施した。

電子化自体については、二〇一〇年二月に行い、その概要を『史料館だより』三八号にて報告した。統いて二〇一一年一月に当館ホームページにて公開した。公開前には、電子化ファイルをOCR認識にかけ、文字列検索できるようにした。

今後の課題として、利便性の向上を図る必要がある。利用者がそれぞれの興味のある報告にたどり着けるようにしなければならない。そのためには、たとえば過去分の史料館だよりを一括で文字列検索ができるようにする、などである。また意識していかつたテーマに興味を持つてもらう仕掛けも必要だろう。今後も継続的に効果的な仕組みを模索する必要があるだろう。



▲史料館だより創刊号 1981.4.1